

くらしの安全 ～台風第19号による災害対応～

A-4

記者発表資料
令和元年11月20日

経済部農業振興課

ほ場等に堆積した稲わらの撤去等の支援

■ 事業の概要

台風第19号の大雨により、市が管理する水路に大量の稲わらが流失したため、その撤去等を支援します。なお、撤去を行う主体（①個人農家②多面的事業団体（市内32団体）③市）により、以下のとおり支援の方法が異なります。

1 個人農家（営農を継続するための農家等）が撤去を行う場合

ほ場・水路に堆積した稲わら等をほ場から撤去し、加須クリーンセンター又は大利根クリーンセンターに持ち込んだ場合、その経費を支援します。

（１）撤去費：定額 5,000 円/㎡ の補助金

【持続的生産強化対策事業（国の直接採択事業）】

※ 個人農家が補助金を受ける場合、「JA ほくさい」が取りまとめます。

①撤去の量が分かる写真を保管すること。

ア）撤去前の写真

イ）撤去の量が分かるクリーンセンターに持ち込んだ際の毎回の写真

ウ）撤去後の写真

②クリーンセンターで発行される「計量票」を保管すること。

（２）クリーンセンターの処分費：無料（被災証明の提示が必要）

①被災証明を取得すること。

※ 経済部農業振興課及び各総合支所農政建設課で交付（現地確認あり）

②稲わらは乾いた状態のものを持ち込むこと。

2 多面的事業団体（市内32団体）が撤去を行う場合

多面的機能支払交付金活動地域のほ場・水路の稲わら撤去については、当該団体の共同活動の対象になり、多面的機能支払交付金が充てられます。

3 市が撤去を行う（営農に支障があり撤去が危険で困難な水路）場合

「持続的生産強化対策事業」を活用し、市が撤去します。

（１）暗きょとその前後の手が入りにくい箇所

（２）水路の幅が広い、深いなど、農家では撤去が危険な箇所

（３）住宅地・耕作放棄地の周辺など、農家では撤去が困難な箇所等

■ 補正予算額 5,000千円

【内訳】（市撤去）稲わら処理委託料 5,000,000 円

※うち 2,500 千円については、国庫支出金（持続的生産強化対策事業補助金）